学校番号	3027

令和８年度　教育文理科

教科	教育文理	科目	科学研究	単位数	３単位	年次	３年次
使用教科書	自主教材						
副教材等	自主教材						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・この授業では、数学、理科、情報、科学史の各分野でグループ単位での探究活動を行います。
・グループで役割を分担し、協働して取り組みましょう。
・取り組みの中で気づいたことや、仲間の意見をメモしておき、考察に活かせるように工夫して取り組みましょう。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
自ら課題を発見し、課題解決に向けた計画の立案や実習を通して、先行研究等から情報収集をおこなう力を養う。
【思考力、判断力、表現力等】
自ら課題を発見し、課題解決に向けた計画の立案や実習を通して、見通しをもって計画を立てる力や仮説を設定する思考力、得られたデータから結論を導く判断力、情報やデータの信頼性や結論の論理性を批判的に表現する力を身につける。
【学びに向かう力、人間性等】
生徒同士で意見を交換したり、専門家の助言を得たりして、主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	自ら課題を発見し、課題解決に向けた計画の立案や実習を通して、先行研究等から情報収集をおこなう力が身についている。	自ら課題を発見し、課題解決に向けた計画の立案や実習を通して、見通しをもって計画を立てる力や仮説を設定する思考力、得られたデータから結論を導く判断力、情報やデータの信頼性や結論の論理性を批判的に表現する力が身についている。	生徒同士で意見を交換したり、専門家の助言を得たりして主体的かつ協働的に取り組むことができる。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	仮説設定と検証	企画立案 仮説の設定と検証	a:身近にある具体的な事例を課題として取り上げ、課題解決に向けた計画の立案や実習を通して研究を進めるための知識・技能を身につけている。 b:身近にある具体的な事例を課題として取り上げ、仮説を設定し、データや情報を収集し、考察することができる。 c:生徒同士で意見を交換したり、専門家の助言を得たりして主体的かつ協働的に取り組むことができる。	ワークシート	ワークシート	観察
2学期	仮説の見直しと検証	中間発表と中間反省 仮説の設定と検証	a:仮説の検証に必要な情報を整理・分析するための知識・技能を身に付けている。 b:発表の評価やフィードバックを受けて、研究方法や内容を考察し、仮説を見直し、データや情報を収集して考察することができる。 c: 生徒同士で意見を交換したり、専門家の助言を得たりして主体的かつ協働的に取り組むことができる。	発表 ワークシート 課題	発表 ワークシート 課題	観察
3学期	研究発表	最終発表 評価と反省	a:自分の発表した内容が科学的根拠に基づいたものかを判断できる能力を身に着けることができる。 b:成果物に対して、個人情報や知的財産権の扱いなど、倫理観に関する内容について積極的に考察することができる。 c:発表内容への評価を元に、次回のための改善点を主体的にまとめてようとしている。	発表 振り返りシート	発表 振り返りシート	発表 観察 振り返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度